

難なため、庁舎の改修等をする場合に検討したいと答弁した。以前から、年に1、2回は庁舎の増築、または一部移転等について理事者と協議をしているが、決定打となる具体的な案がない状態。引き続き対応策を検討する。

質疑を終えて 委員間討議

議会部分も含め、考えれば対応できる部分もあるのでは。市は、物理的、財政的に困難との答弁。待機児童対策に想定外の支出をしている中で、採択することは難しいのでは。趣旨は理解するが、無料保育には保育士が必要になる。待機児童解消が優先では。実現が困難な状況で採択することは無責任。時期をみて改めて検討すべきでは。市に押しつけるだけでは無責任。議会としても知恵を絞って方法を提言すべき。

請願第2号

◆安心してできる保育の実現を求める請願書
【賛成全員…採択】

請願項目

- ①待機児童のいない京田辺市を
- ②今回の事態（年度当初待機児童数140名）の原因と再発防止策について市民に情報の公開を
- ③「京田辺市で保育士として働きたい」と思える労働環境

・如遇を

参考人・紹介議員 に対する質疑

■ 本請願の内容から見た市の現状に対する紹介議員の意見は。

（紹介議員） 9月定例会で、

保育所及び認定こども園の整備に係る用地確保や、臨時職員の保育士賃金に係る経年数加算額の予算などが提案されており、良い方向と考える。しかし、待機児童95名の解消には、保育士確保が大きな課題。今後も待機児童の発生が予測される中で、保護者の身になって確固たる対策が必要。今回、今回の9月議会でも市が提案した施策に対する考えは。

（参考人） 公立保育所は、全国的に臨時職員頼みの状態。

賃金差がある正職と同等の仕事内容に不満を感じて、離職される方が多いと聞く。今回、経験1年につき月額1000円、年間1万2000円を加算することだが、思い切った雇用条件の改善が必要では。週に3回までという一時保育の受入制限の拡充も望む。市民への情報公開について望むことは。

（参考人） 広報紙、プリント

配布やネット公開での情報開示、入所希望者への説明会を早い時期に開催するなどしていただければ、各家庭でも前もって対策を考えられる。

市担当部局 に対する質疑

■ 臨時職員は、思い切った雇用条件の改善が必要では。

（子育て支援課長） 経験年数に応じた賃金加算を踏まえた新たな募集と同時に、離職防止に取組んでいる。1対1の面談により、率直な意見を聞いている。賃金アップの要望はないが、如遇への要望を認識して改善策を検討したい。

■ 入所希望者への対応は。

（子育て支援課長） 今回、2

月に不承諾通知を送付して混乱を招いたことを反省し、入所申込みを従来の1月から12月に前倒しして、周知も徹底する。各ニーズを把握して丁寧な対応で混乱を回避したい。

■ 臨時職員での保育士確保は難しいのでは。

（子育て支援課長） 現場の声では正職での採用が理想だが、市全体のバランスで考えると難しい。現状では臨時職員での確保に知恵を絞っている。

■ 潜在保育士の掘り起こしに、職場見学会を始めたが、申込みや成果の状況は。

（子育て支援課長） 問い合わせが10件、参加者は8名。そのうち1名をパートで採用した。ほとんどが学生で、採用試験の受験希望者が多かった。

質疑を終えて 委員間討議

請願内容は当たり前のこと。0歳児だけでも37名、計95名が待機児童となっており、保育士もまだ不足している。

市も取り組みとして予算を計上した。今回の施策提案で一定の効果があるのでは。

大胆な予算を計上したことは評価したい。臨時職員で保育士確保を考えている市のスタンスは、長期的、財政的な

議会報クリニックで高評価

8月22日に開催された「市町村議会広報研修会」において、講師の芳野政明先生から「京田辺市議会だよりはここ数年で改善されて、タブロイド形式では全国1位と言える最高水準の編集」と高い評価をいただきました。しかし、大切なのは読者のみなさんの評価です。今後もがんばります。



前号記事の追記

第158号（8月1日発行）の4面 常任委員会の審査報告における議案審査に関する記事に、**横線部分**のとおり追記いたします。

《道路線の認定》の質疑におけるごみ広域処理推進課長の答弁「本議案の甘南備園東側の進入路は市道認定を行うが、緊急時には西側からもアクセス可能とするため、市道認定を行わない専用通路を確保できるよう協議を進めている。」

面で理解できる。委員会でも知恵を出して策を提案したい。市民は、われわれが考えるより情報がわからない。今回の中長期的な施策は評価するが、短期的な解決方策も必要。本請願を採択することで、市の施策を後押しするべき。

広報編集特別委員会管外視察報告

7月20日に愛知県愛西市で、翌21日に愛知県田原市で「議会だよりの編集と取り組み」について管外視察研修を実施しました。

愛西市議会は、「市の広報と違う切り口で」「読むのではなく見てわかる編集」を心がけておられました。今後は「広報だけではなく広聴活動も必要」と議長に申し入れ書を提出するなど積極的に活動されていました。



田原市議会は、アンケートにより読者が少ないことを実感し、「わかりやすい文章」や「大胆な余白の活用」に取組まれ、議会報告会でも議会だよりを活用されていました。

文教福祉常任委員会管外視察報告

8月7日に東京都町田市で、翌8日に静岡県富士宮市及び静岡県御殿場市で管外視察研修を実施しました。

町田市では、市独自の取り組みとして成果をあげておられる「20年間期間限定認可保育所事業」について、富士宮市では、福祉相談を窓口で一元化して受け付ける「福祉総合相談事業」について、御殿場市では、保育所型認定こども園を新たに建築された「印野保育園舎改築事業」について、それぞれ研修しました。



建設経済常任委員会管外視察報告

建設経済常任委員会は、8月7日から9日の3日間、北海道苫小牧市、小樽市及び札幌市において視察研修を実施しました。

苫小牧市は中小企業振興条例を制定され、条例に基づき設置された中小企業振興審議会において積極的な審議がされるなど、「中小企業の振興策」について研修しました。

小樽市では、「道路維持管理」について、道路ストック修繕更新計画の策定経過や実際の運用、予算面での課題について研修しました。

札幌市では、「商店街の活性化」について、商店街の抱える課題、地域商店街支援事業の実施状況やその効果などについて研修しました。



用語の 解説

内方線付点状ブロック
（2面6段目）

方向を示す「線状ブロック」と、注意喚起・警告を示す「点状ブロック」が一体化したもの。ホーム側に「線状ブロック」を配置し、どちらが線路が明確になる（こ）で、転落事故を防止するもの。

幼保連携型認定こども園
（6面右4段目）

幼稚園の機能と保育所

シェイクアウト訓練
（6面右7段目）

世界的機能の両方を併せ持ち、教育と保育を一体的に行う施設。認定基準に従い、都道府県等が認定する。

世界各地で行われる大規模な地震防災訓練。「ドロップ（姿勢を低く）・カバー（頭を守る）・ホールドオン（揺れが収まるまで動かない）」の基本的な行動を、決められた日時に居場所を問わず一斉に行うもので、誰でも気軽に参加できる。